

6月 は 環 境 月 間

7月7日から北海道洞爺湖サミットが開催されます。ご承知のとおり、今回のサミットは『地球温暖化対策を含めた環境問題』が主要テーマの一つとなります。この機会に環境問題について考えましょう！！



地球温暖化は、二酸化炭素(CO₂)など温室効果ガスが増えすぎるにより引き起こされます。例えば気温が2度上昇すると私たちにどのような影響があるか実感しにくいのですが、これまでの経験では、かつてない猛暑だと言われた年でさえ平均気温にすると平年より約1度高かったただけだそうです。このように、わずかな平均気温の上昇でも大きな影響があるのです。

温暖化が進むと日本では、これまで食べてきた美味しいお米がとれなくなり、病害虫の懸念も増大します。漁獲量にも影響がでます。暖水性のサバやサンマは増える一方、アワビやサザエ、ベニザケは減少するとみられます。また、日本南部はデング熱が流行する危険性が増し、北海道や東北ではゴキブリなどの害虫が見られるようになると考えられます。都市部ではヒートアイランド現象に拍車がかかり、海岸地域では砂浜が減少し、また、高潮や津波による危険地帯が著しく増大します。

日本における温室効果ガスの排出は、大半が産業活動に起因していますが、産業界における徹底した省エネやエネルギー転

換などが進められ、これからもより積極的な対策が望まれます。一方、日本経済を根底で支えているのは私たち国民の一人ひとりであり、温暖化を防止するためには、私たちの生活様式を変えることが不可欠となります。では、私たちにできることはどのようなことがあるのでしょうか。例として10の取組を掲載しますので、皆さんもできることから始めてみませんか？

① 冷房の温度を1度高く、暖房の温度を1度低く設定する
カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることで、冷暖房機に頼らないで過ごす。冷暖房機を入れる時期を少し待つてみる。

- 年間約33kgのCO₂の削減
- 年間で約1,800円の節約



② 週2日往復8kmの車の運転をやめる
通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩

いたり自転車をを使う方が健康にも良いですよ。

- 年間約184kgのCO₂の削減
- 年間で約9,200円の節約



③ 1日5分アイドリングストップ
駐車や長時間停車する時は、車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。

- 年間約39kgのCO₂の削減
- 年間で約1,900円の節約



④ 待機電力を50%削減する
主電源を切る。長時間使わないものは、コンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い替えには待機電力の少ないモノを選びましょう。

- 年間約60kgのCO₂の削減
- 年間で約3,400円の節約



⑤ 家族みんなでシャワーを1日1分減らす
洗髪や身体を洗っているあいだは、シャワーを止めましょう。

- 年間約69kgのCO₂の削減
- 年間で約7,100円の節約



⑥ 風呂の残り湯を洗濯に使う
洗濯や庭の水やりに使用する人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。

- 年間約7kgのCO₂の削減
- 年間で約4,200円の節約



⑦ ジャーの保温を止める
ポットやジャーの保温は利用時間が長いと、大量の電気を消費します。こはんは電子レンジで温め直すほうが電力の消費は少なくなります。

- 年間約34kgのCO₂の削減
- 年間で約1,900円の節約

